

柏木農業高校のスクール・ミッション及びスクール・ポリシー

全日制の課程 農業科(生物生産科、環境工学科、食品科学科、生活科学科)

スクール・ミッション（各校の求められる役割、目指す学校像）
企業や地域等と連携した農業教育を通して、農業のグローバル化に対応できる知識・技術を身に付けるとともに、地域資源の活用や地域課題をテーマとした課題研究により、地域に貢献する態度を養い、豊かな心を持った、農業や地域産業の健全で持続的な発展を担う人財を育成します。
スクール・ポリシー（一貫性を持って教育活動を進めるための具体的な3つの方針）
【グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）】
○あらゆる教育活動をとおして、よりよく問題を解決する力や豊かな人間性、生きる力を育み農業のグローバル化に対応できる人財を育成します。
○自然や生命、地域や人との関わりをとおして、心身ともに健全で、産業の担い手としての資質・能力を身につけ、地域社会の発展に貢献できる人財を育成します。
○農業の基礎的知識や技術を学び、地域産業の担い手としての資質・能力を身につけ、地域社会に貢献できる人財を育成します。（生物生産科）
○農業機械の点検・整備及び運転、地域資源の保全と創造に関する専門的知識や技術を身につけ、地域産業に貢献できる技術者を育成します。（環境工学科）
○「食品衛生管理（HACCP）」の考えに基づいた「食」に関する基礎的知識や技術を身につけ、安心安全な食品を製造できる技術者を育成します。（食品科学科）
○草花をはじめとした植物を育て、衣食住やヒューマンサービスに関する基礎的知識や技術を身につけ、地域社会に貢献できる人財を育成します。（生活科学科）
【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）】
○確かな学力を身につけるため、学び直しによる基礎的知識の定着を図り、各教科の学習を有機的に結びつけ、課題解決に向け、広い視野で物事を捉え行動できる能力を育成します。
○課題研究を中心とした農業科目におけるプロジェクト学習の充実を図り、自ら考え実践する能力と表現する能力を育成します。
○農業生物の基礎・基本を学ぶとともに、農業のグローバル化を視野にGAP教育の実践、持続可能な農業について学習します。（生物生産科）
○農業機械・農業土木・環境の基礎・基本を学ぶとともに、実践的学習やインターンシップ・職場見学を通し、技術者として必要な能力について学習します。（環境工学科）
○食品の製造から販売までの実験や実践学習を経験するとともに、地域の農産物を活用した商品開発について学習します。（食品科学科）
○草花に関する経営・利用や家庭生活に関わる実践的・体験的な学習活動を経験するとともに、専門的な技術を習得し、生活の質を向上させることについて学習します。（生活科学科）

【アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）】

- 本校への志望動機・理由が明確で、希望する進路目標の達成に向けて継続的に努力を重ね、自己の成長のために向上心を持って取り組むことができる生徒を募集します。
- 基本的な生活習慣および規範意識が身につけており、他者理解を深めながら互いを認め、高め合うことができる生徒を募集します。
- 命と植物を大切に育み、明るく元気で将来に夢を持ち、進路目標に向かって継続的に努力し、将来地域社会の発展に貢献できる生徒を募集します。（生物生産科）
- 農業機械や自然環境に関心を持ち、積極的に実習や学習に取り組み、将来技術者として地域社会の発展に貢献できる生徒を募集します。（環境工学科）
- 食品関連分野に強い関心を持ち、自己研鑽に熱意を持って取り組み、将来食品関連産業の技術者として地域社会の発展に貢献できる生徒を募集します。（食品科学科）



青森県立柏木農業高等学校グランドデザイン

校訓

誠実

勤勉

公正

令和7年度 創立100周年

教育目標

「誠実」「勤勉」「公正」の校訓の精神のもと、あらゆる教育活動とおして、よりよく問題を解決する力や豊かな人間性、健やかな体などの生きる力を育むとともに、産業の担い手としての資質・能力を身に付けさせ、社会の発展に貢献できる人材を育成する。

本校のスクールミッション(目指す学校像)

- ①農業のグローバル化に対応できる知識・技術を身に付ける。
- ②地域資源の活用や地域課題をテーマとした課題研究を行い、地域貢献の態度を養う。
- ③豊かな心を持った、農業や地域産業の健全で持続的な発展を担う人財を育成する。

AP (アドミッション・ポリシー) ~入学者の受入れに関する方針~

【生物生産科】

- 命と植物を大切に育む。
- 進路目標にむけて継続的に努力し、地域社会発展に貢献できる。

【環境工学科】

- 農業機械や自然環境に関心を持つ。
- 将来技術者として地域社会の発展に貢献できる。

【食品科学科】

- 食品関連分野に強い関心を持つ。
- 将来食品関連産業の技術者として地域社会の発展に貢献できる。

CP (カリキュラム・ポリシー) ~教育課程の編成及び実施に関する方針~

学び直しによる基礎的知識の定着。

課題解決に向け、広い視野で物事を捉え行動できる能力の育成。

プロジェクト学習の充実。

自ら考え実践する能力、表現する能力を育成。

生物生産科

- 農業のグローバル化を視野にGAP教育の実践。
- 持続可能な農業について学習。

GAP教育

3年次(生産類型・経営類型の選択で専門性を追求)

環境工学科

- 農業機械・土木・環境の基礎・基本を学習。
- 実践学習を通し、技術者に必要な能力について学習。

環境教育

3年次(機械類型・土木類型の選択で専門性を追求)

食品科学科

- 製造から販売までの実験や実践学習を経験
- 地域の農産物を活用した商品開発について学習。

HACCP教育

生活科学科

- 草花に関する経営・利用や家庭生活に関わる実践的・体験的な学習。
- 専門的な技術を習得し、生活の質の向上について学習。

ヒューマンサービス教育

PTA

同窓会

地域

GP (グラデュエーション・ポリシー) ~育成を目指す資質・能力に関する方針

農業の基礎的知識や技術を学び、地域産業の担い手としての資質・能力を身につけ、**地域社会に貢献できる人財**を育成。【生物生産科】

農業機械の点検・整備及び運転、地域資源の保全と創造に関する専門的知識や技術を身につけ、**地域産業に貢献できる技術者**を育成。【環境工学科】

「食品衛生管理(HACCP)」の考えに基づいた「食」の基礎的知識や技術を身につけ、**安心安全な食品を製造できる技術者**を育成。【食品科学科】

草花をはじめとした植物を育て、衣食住やヒューマンサービス等の基礎的知識や技術を身につけ、**地域社会に貢献できる人財**を育成。【生活科学科】

持続可能な
共生社会
の実現

